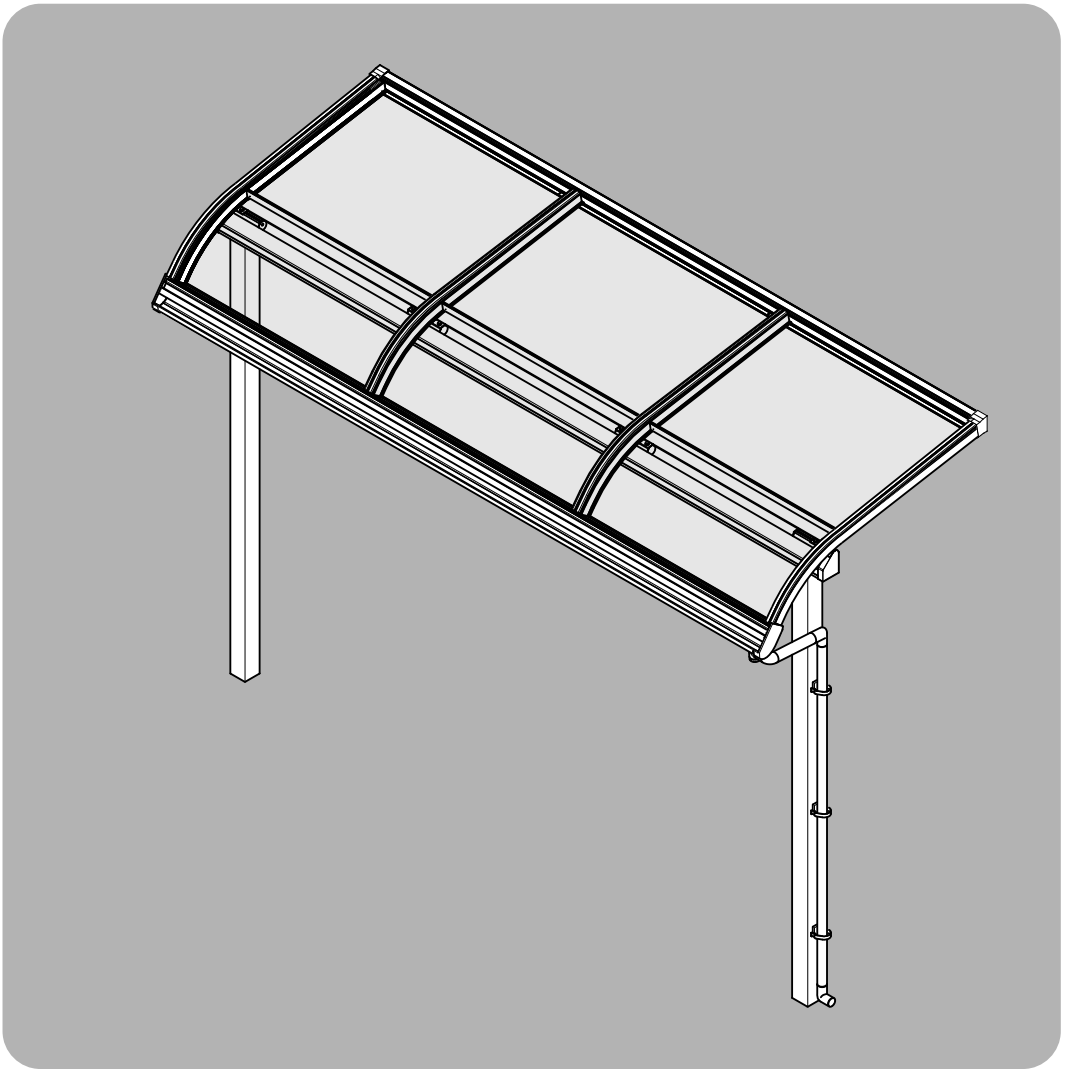
工事店さま用

ライザーテラス・セイバーテラス
（下止め自在桁専用前枠仕様）

取付け説明書



取付けにあたって

この説明書では、お客様の安全と製品を正しく施工していただくための、取付けについて、重要な内容を記載しております。
ご留意いただき、施工してください。

目次

■取付けされる方へのお願い……P1・2
■構造説明図……P3
■取付け順序……P4～15
●基本タイプの場合……P4～13
1.垂木掛けの固定……P4
2.柱（バルコニー連結）の取付け……P4～6
3.雨どい部品の取付け……P6
4.端部垂木の取付け……P7
5.自在桁専用前枠の取付け……P8
6.キャップの取付け①……P9
7.屋根パネルの取付け……P10
8.中間垂木の取付け……P10
9.端部屋根パネルおよび端部垂木の取付け……P11
10.後付けビート・野縁の取付け……P12
11.キャップの取付け②……P13
12.雨どいの取付け……P13
●補強ブレス取付け……P14
●連棟タイプの場合……P14・15
1.自在桁専用前枠の加工……P14
2.垂木掛けの取付け……P14
3.自在桁専用前枠連結部の組立て……P15
■納まり図……P16～18
■梱包明細書……P19～21

取付けされる方へのお願い

●この説明書は必ず、取付けされる方にお渡しください。
※▭内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

●本製品取付けの際は、自在桁に同梱されている取付け説明書を併せてご使用ください。
●同梱されている取扱い説明書は、必ず施主様へお渡しください。
●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

⚠注 意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠注 意

※製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

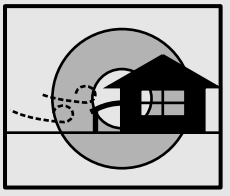
●設置条件

・それぞれの地域に対応したテラスをお選びください。
一般地域600タイプ→耐えられる積雪量の目安20cm相当〔600N／㎡（61.2 kgf／㎡）〕

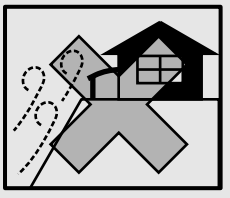
■下止めタイプ

	1階	2階	3階
3・4尺	○	○	○
5・6尺	○	○	×

・本製品は、タイプ・サイズごとに設置可能な階数が決まっています。右記の表にしたがって取付けてください。
・柱の移動は、当社指定範囲内にしてください。
・他社商品（バルコニーなど）と組合わせて設置しないでください。
・高い建物のそばや周りに障害物がなく、直接強い風が吹くような場所では補強ブレスで製品の補強をしてください。



・母屋の屋根からの雪が直接落ちない場所に設置してください。
落雪により製品が破損するおそれがあります。
・風当たりの強いところでは風が抜けなくなりますので、テラスの周囲を囲わないでください。
・崖っぷちなどの高低差のあるところには設置しないでください。



●躯体への固定

・躯体へ固定する部材・部品は柱・間柱・胴差しなどの構造材に必ず取付けてください。躯体位置が分からない場合、および躯体が強度保持できない場合は取付けないでください。
・躯体が経年変化などで損傷が著しい場合は、施主様と打合わせをし、新しい柱・胴差しを入れるなどの補強をしてから取付けてください。
・プラグ類を使用して、モルタル部分だけで固定することは非常に危険ですから絶対に行わないでください。
・タッピンねじの下穴には、指定より太いドリルを使用しないでください。

●部材の固定

・組立てねじ・ボルトは必ず指定のものを使用してください。又、使用中緩まないように締付けてください。

⚠ 注　意

●取付け時の足場について
・取付け時は必ず足場を設け、転落などの危険がないようにしてください。
●基礎について
・基礎は当社指定寸法以上にしてください。
・海砂を使用の場合は、水洗いしたものを使用してください。アルミが腐食するおそれがあります。
・取付け前に調査を行い、地下埋設物（給排水管など）に影響をおよぼさないようにしてください。
・寒冷地では凍上線より下まで柱を埋込んでください。凍上により浮上するおそれがあります。
・柱（屋根柱は除く）には水抜きできるよう、柱基礎には必ずぐり石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ6）をあけてください。柱間の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
・養生期間は十分（4日～1週間以上）にとり、その間は、重たいものをのせたり、振動を与えたりしないよう指示してください。
・コンクリート（又はモルタル）に急結材は絶対に使用しないでください。
●パネルについて
・屋根パネルは当社指定品をご使用ください。
・屋根の取付けは垂木へののみ込みが左右均等になるようにしてください。パネルが強風により、飛散するおそれがあります。
●取付けについて
・みだりに改造・変更をしないでください。
・自在桁専用前枠の内観右側にブランドラベル（商品名シール）が張ってあります。間口切詰めをする際には、ブランドラベル（商品名シール）がなくならないようにしてください。
※製品腐食のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
●絶縁処理
・アルミ形材が亜鉛・ステンレス以外の金属と接触するときは、絶縁処理をしてください。
※水漏れのおそれがありますので、下記事項をお守りください。
●シーリングについて
・シーリングは指定個所に必ず行ってください。
・外壁の上から部材を取付ける場合は、コーキング材を下穴に充てんしてからねじ止めしてください。
・シリコンシーリングを行う場合は指定のアルコール系コーキング材を使用してください。
　・信越科学工業 シーラント72　・東芝シリコーン トスシール380　・東レシリコーン SE960

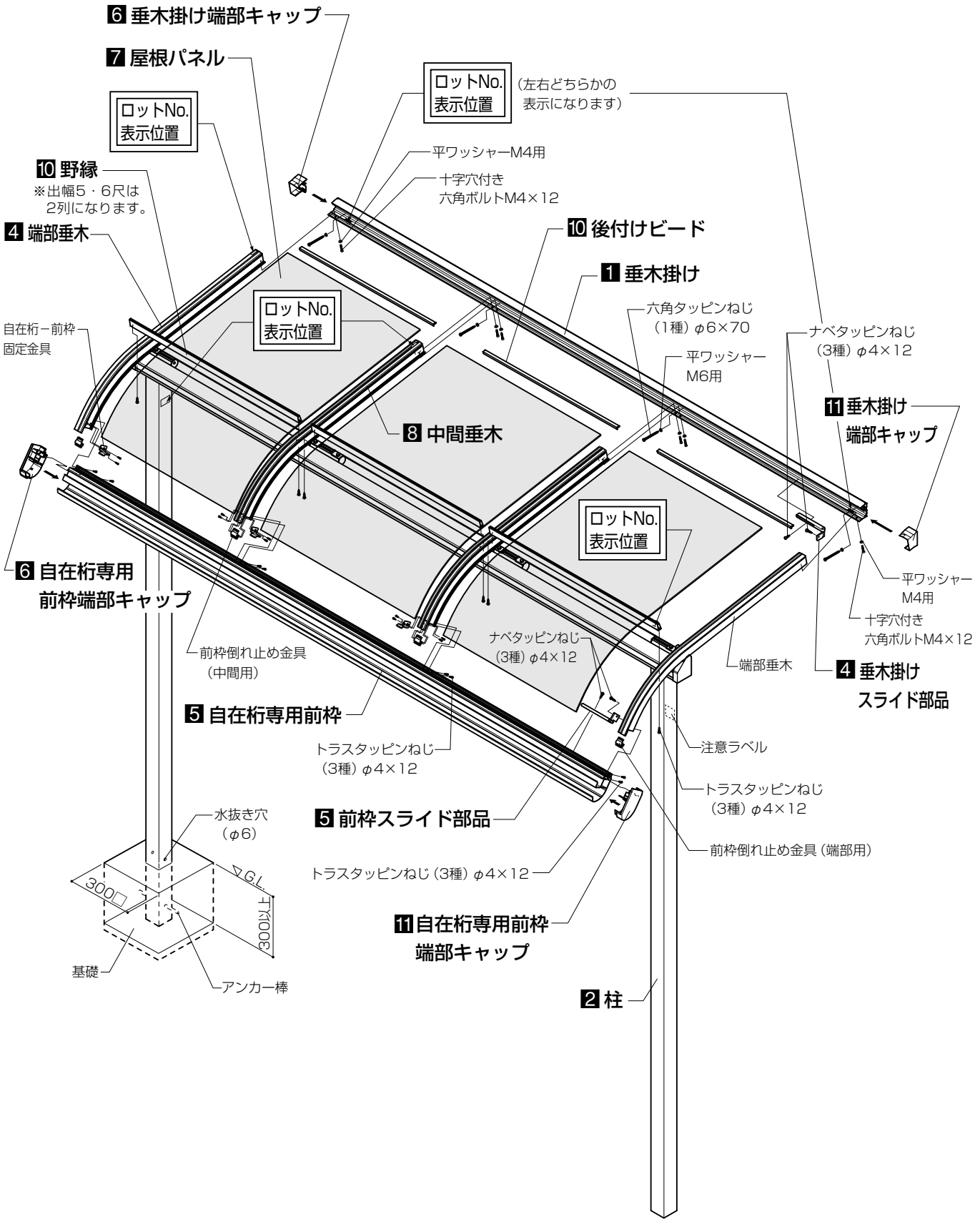
■取付け上のお願い

●水平・垂直は水準器などで正確に出してください。
●取付けは専門業者が行ってください。
●当社指定の付属品以外は取付けないでください。

構造説明図

■構造説明図

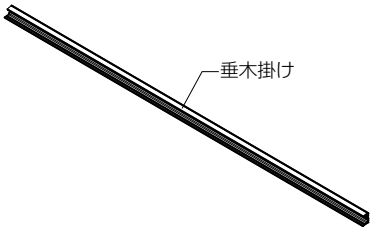
※図は、ライザーテラス600タイプ間口1.5間、出幅4尺を示します。



取付け順序

■取付け順序（基本タイプの場合）

1 垂木掛けの固定



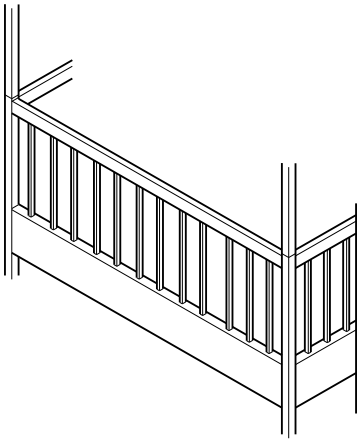
⚠ 注　意

●シリコンシーリングを行う場合は指定のアルコール系コーキング材を使用してください。

・信越科学工業 シーラント72
・東芝シリコーン トスシール380
・東レシリコーン SE960

2 柱（バルコニー連結）の取付け

※ブロードステージ接続用柱セットを使う場合は、同梱されている取付け説明書の方にしたがって取付けてください。
※ガーデンステージ接続の場合はアクトステージA型を参照してください。



■取付け詳細（基本タイプの場合）

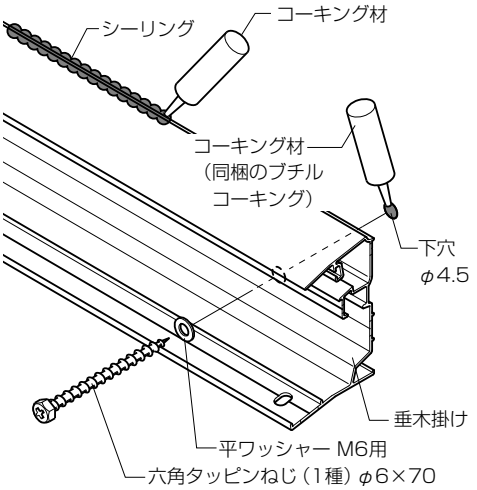
※本図はライザーテラス・下止め自在桁専用前枠仕様を示します。セイバーテラスの場合も同様の手順で行ってください。

1 垂木掛けの固定

●垂木掛けを躯体に取付ける際、必ず水準器で水平を出してください。

⚠ 注　意

●垂木掛けは必ず躯体の柱・間柱などの構造材に取付けてください。
●躯体が経年変化などで損傷が著しい場合は、施主様と打合わせをし、新しい柱・胴差しを入れるなどの補強をしてから取付けてください。
●指定の個所に必ずシーリングしてください。



【関西間・九州四国間の場合】

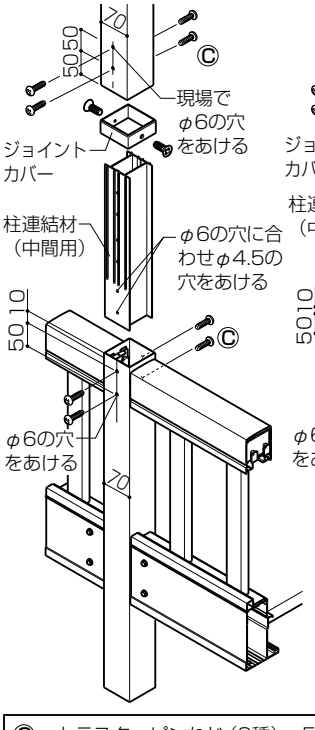
●関西間・九州四国間の場合、垂木掛けに躯体取付け用の穴はあいていません。柱および間柱の位置に合わせて、φ6.5の穴をあけてください。

2 柱（バルコニー連結）の取付け

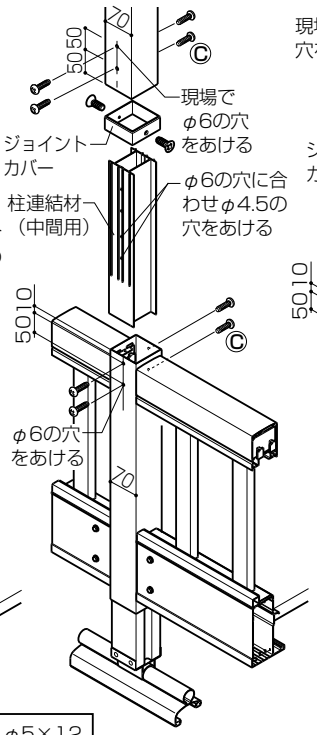
※注意ラベルが必ず内側にくるように設置してください。
①屋根柱を柱連結材に固定します。
②下図の要領にしたがい、柱を連結してください。

【アクトステージA型の場合】

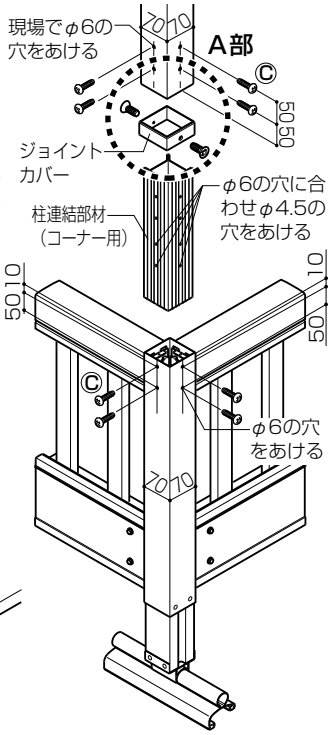
●柱立て中間柱の場合



●屋根中間柱の場合

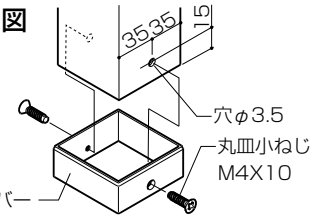


●コーナー柱の場合



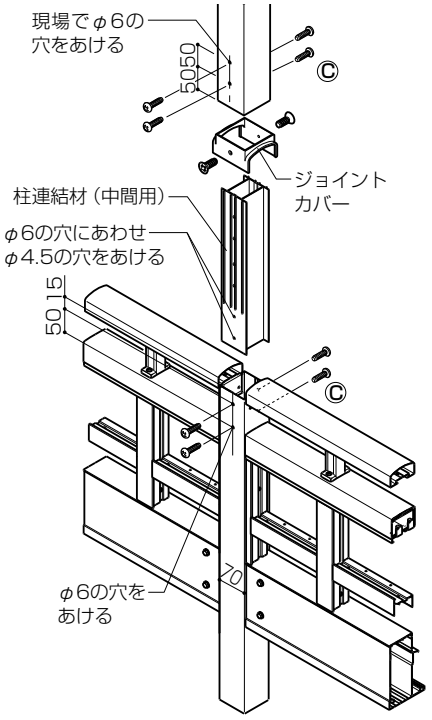
Ⓒ＝トラスタッピンねじ（3種）φ5×12

■A部詳細図

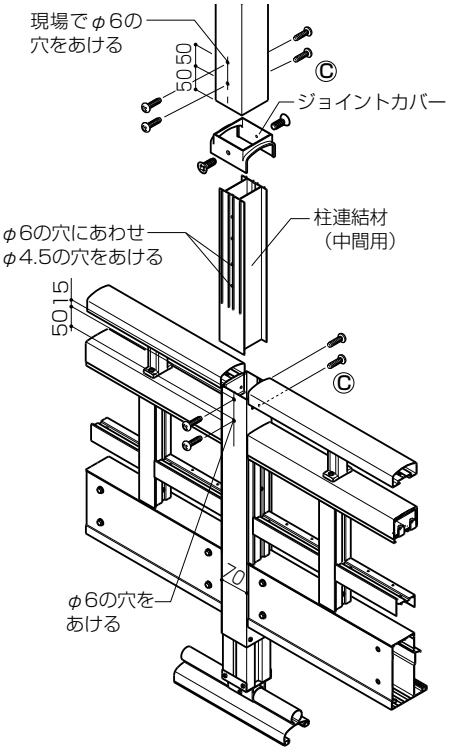


【アクトステージB型の場合】

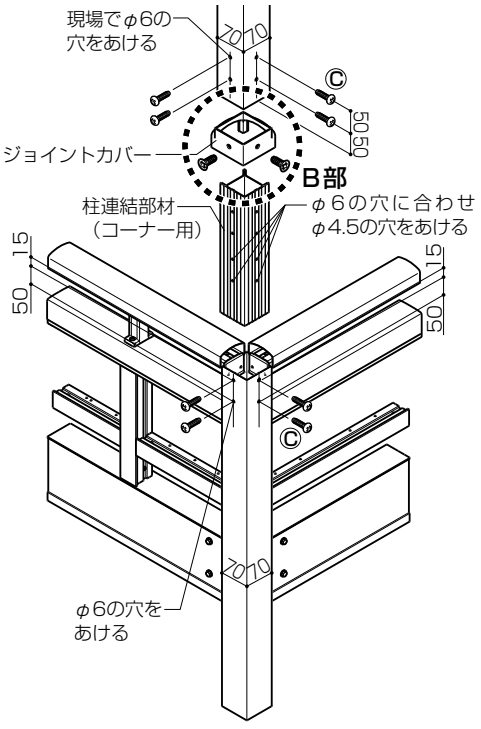
●柱立て中間柱の場合



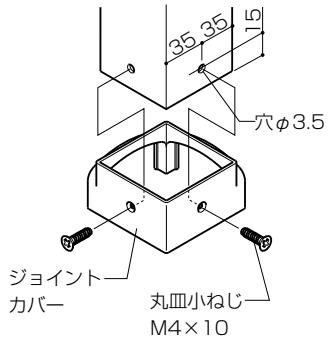
●屋根中間柱の場合



●コーナー柱の場合

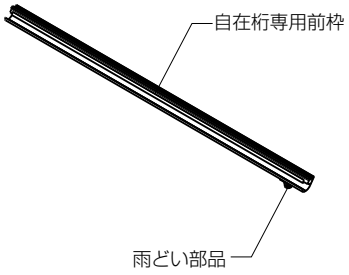


■B部詳細図



Ⓒ＝トラスタッピンねじ（3種）φ5×12

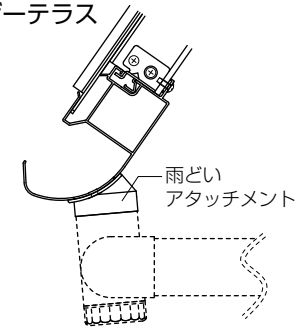
3 雨どい部品の取付け



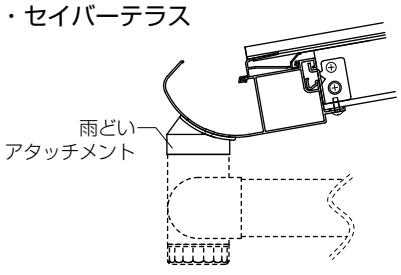
ポイント

※ライザーテラスとセイバーテラスでは雨どいアタッチメントの向きが異なります。下図を参考にして取付けてください。

・ライザーテラス



・セイバーテラス



【柱を造付けバルコニーに取付ける場合】

※注意ラベルが必ず内側にくるように設置してください。

1 部品の取付け

●躯体に柱壁付用固定部品を取付けます。

⚠ 注 意

●柱壁付用固定部品は必ず、柱・間柱などの構造材に固定してください。

※固定部品の間は600mm以上あけてください。

2 柱の仮止め（垂直出し）

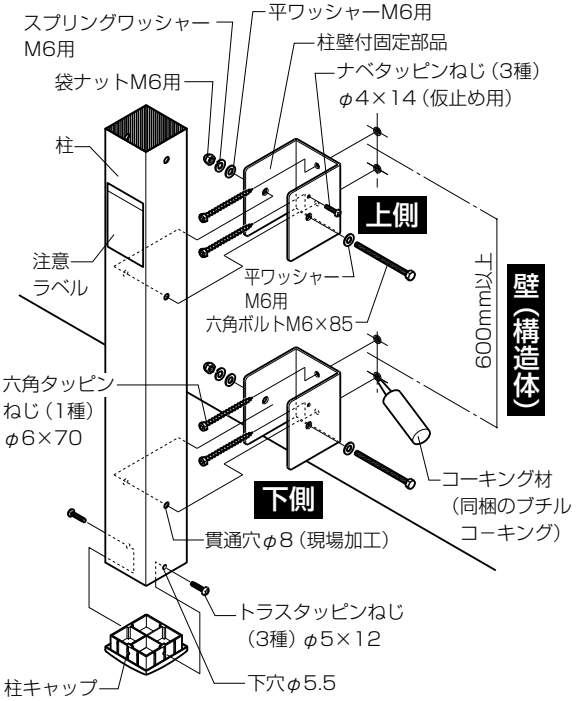
①柱に上側の部品固定穴をφ8（貫通穴）で加工してください。

②柱を上側の部品に取付け、垂直を出して、ねじで仮止めします。

3 柱の固定

①下側の部品にあいている穴に合わせ、φ8（貫通穴）をあけます。

②ボルトで柱を固定します。



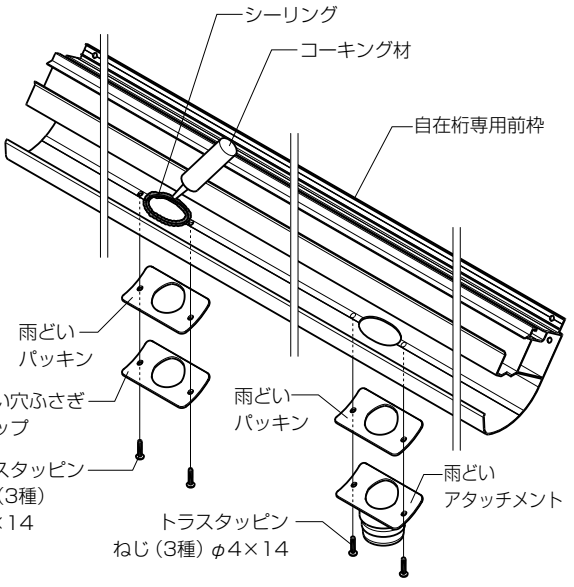
⚠ 注 意

●指定の個所に必ずシーリングしてください。

3 雨どい部品の取付け

※自在桁専用前枠の内観右側にブランドラベル（商品名シール）が張ってあります。間口切詰めをする際には、ブランドラベル（商品名シール）が残るように切詰めてください。

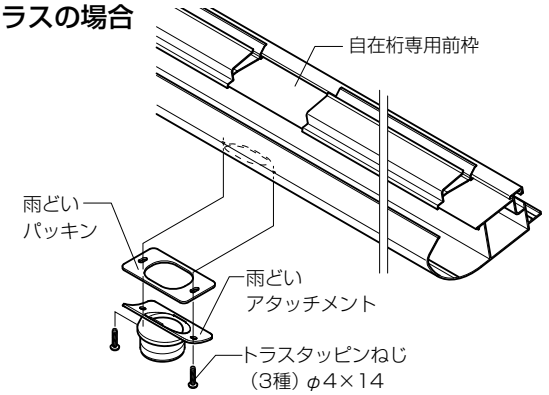
●図のように自在桁専用前枠に雨どい　部品を取付けてください。



⚠ 注 意

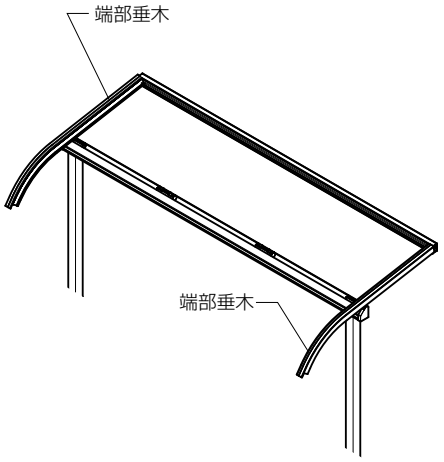
●指定の個所に必ずシーリングしてください。

■セイバーテラスの場合



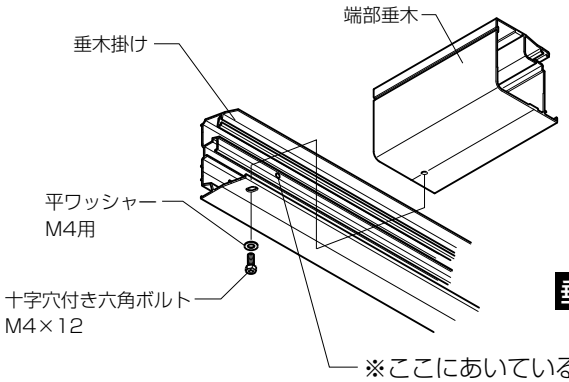
4 端部垂木の取付け

①端部垂木の取付け
②スライド部品の取付け



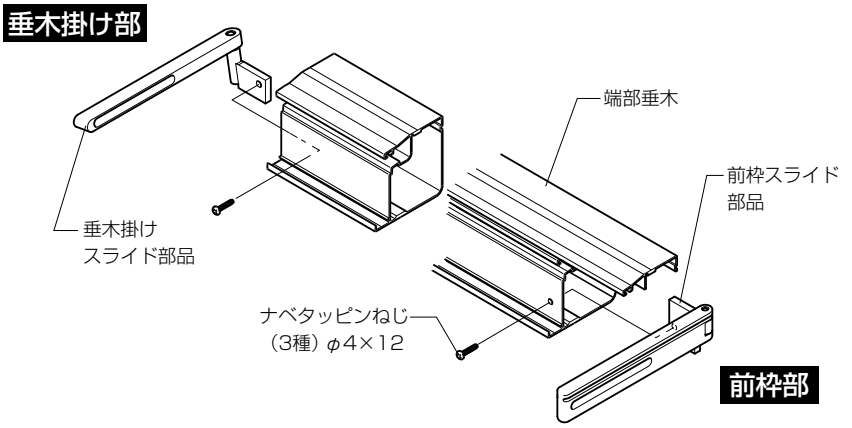
4 端部垂木の取付け

※現場で下止めする方向を決めてください。
①図のように端部垂木を垂木掛けに取付けてください。

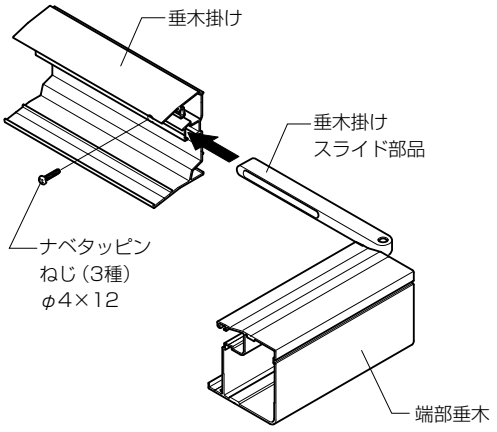


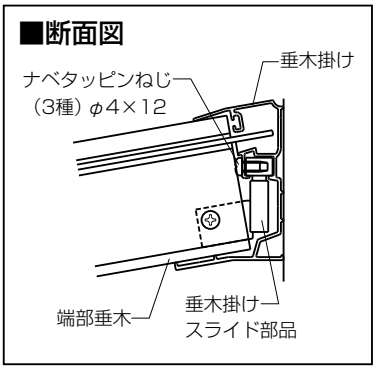
※ここにあいている穴は使いません。
同梱の穴ふさぎシールを張ってください。
（端部垂木前後2カ所、垂木掛け１カ所）

②図のように下止めする側の端部垂木にスライド部品を取付けてください。



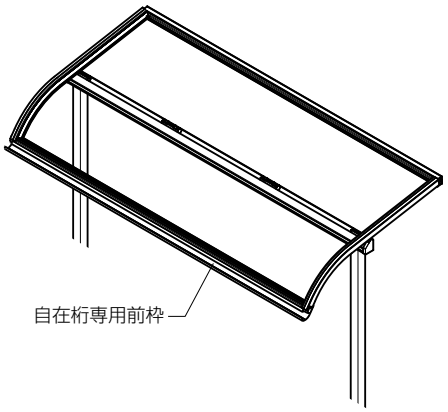
③図のようにスライド部品を取付けた端部垂木を垂木掛けの溝に挿入し、ねじを取付けてください。





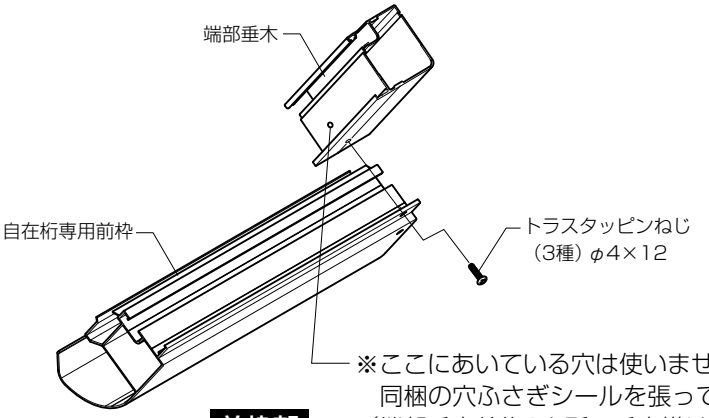
④取付け後、本体の水平、垂直を出してください。
※下止め端部垂木は、垂木掛けに固定しないでください。
※スライド部品は、垂木掛け側に必ず固定してください。片側だけの固定は部品に無理な力がかかり、破損するおそれがあります。

5 自在桁専用前枠の取付け

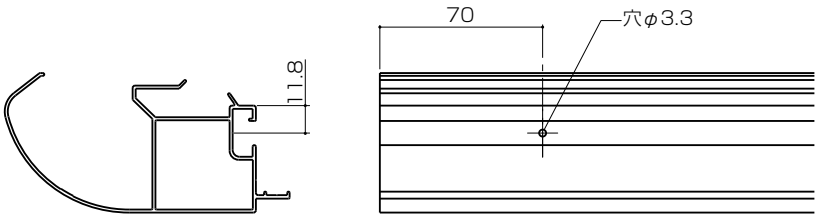


5 自在桁専用前枠の取付け

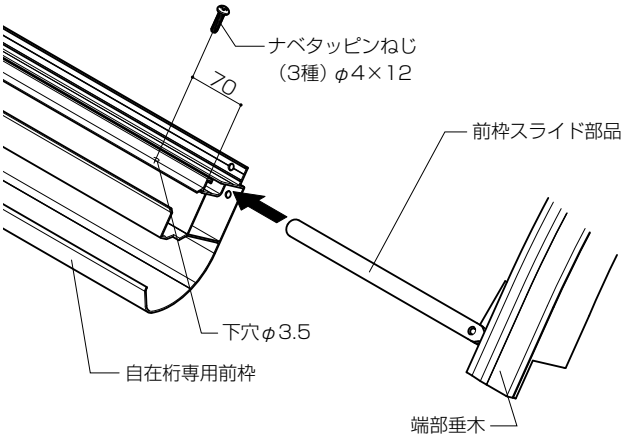
①図のように端部垂木に自在桁専用前枠を取付けてください。



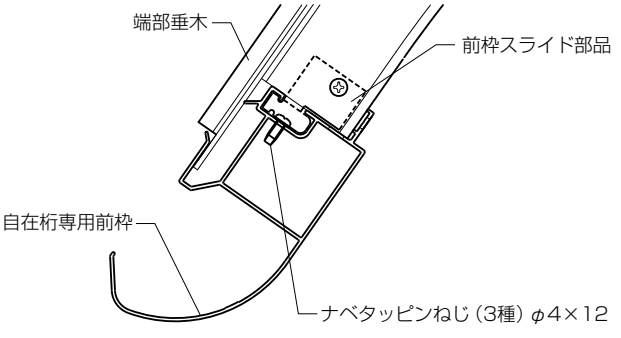
②次に、端部垂木を下止めする側の自在桁専用前枠に穴をあけてください。



③図のようにスライド部品を取付けた端部垂木を自在桁専用前枠の溝に挿入しねじを取付けてください。



■断面図

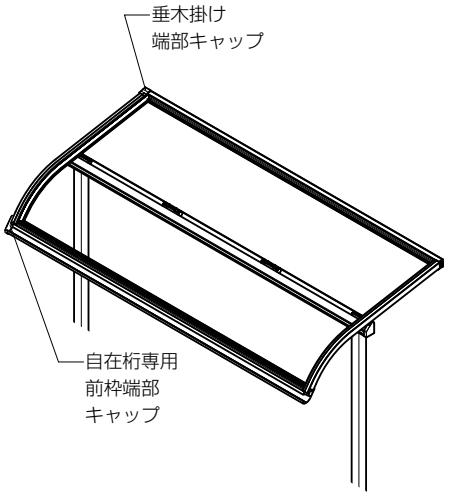


④取付け後、本体の水平、垂直を出してください。

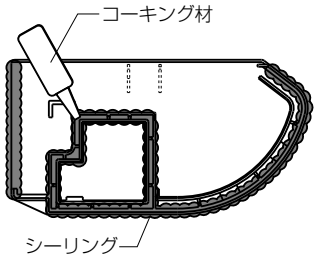
※下止め端部垂木は、自在桁専用前枠に固定しないでください。

※スライド部品は、自在桁専用前枠側に必ず固定してください。片側だけの固定は部品に無理な力がかかり、破損するおそれがあります。

6 キャップの取付け①



■自在桁専用前枠端部キャップ
シーリング個所



⚠ 注 意

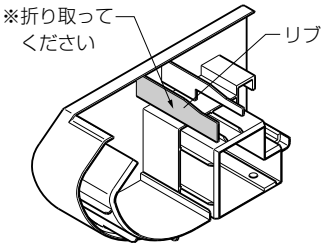
- ●指定の個所に必ずシーリングしてください。
- ●シリコンシーリングを行う場合は指定のアルコール系コーキング材を使用してください。
  - ・信越科学工業 シーラント72
  - ・東芝シリコーン トスシール380
  - ・東レシリコーン SE960

6 キャップの取付け① ※4「端部垂木の取付け」で端部垂木を取付けした側のみ

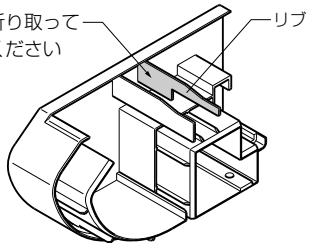
①自在桁専用前枠端部キャップのリブを下図のように折り取ってください。
②自在桁専用前枠端部キャップに図のようにシーリングした後、自在桁専用前枠に取付け、さらに自在桁専用前枠内部をシーリングしてください。
③自在桁専用前枠端部キャップをねじ止めしてください。

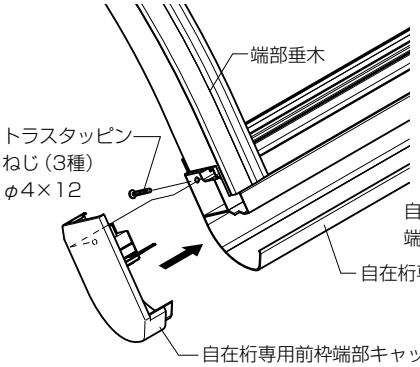
■自在桁専用前枠端部キャップ加工図

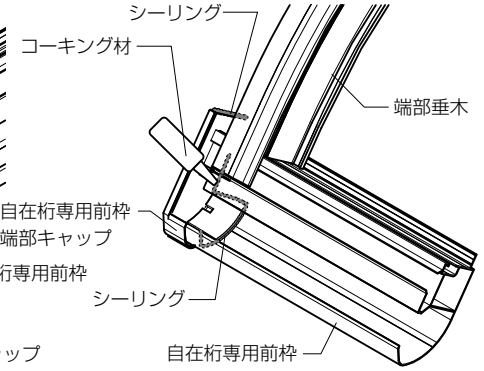
●ライザーテラス



●セイバーテラス

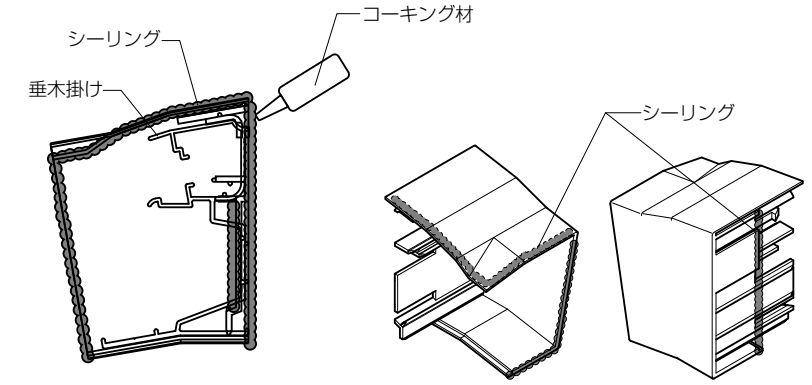


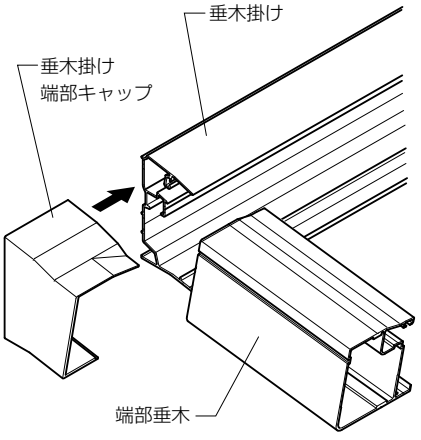


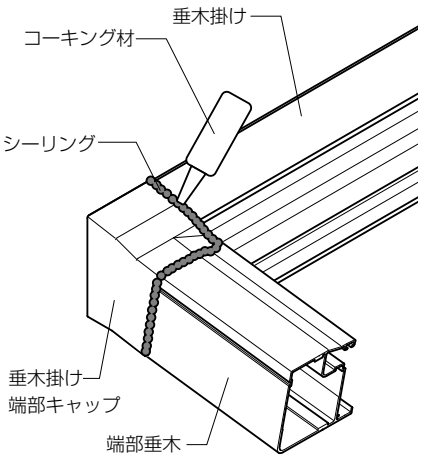


④垂木掛けキャップにシーリングした後、キャップを取付けてください。

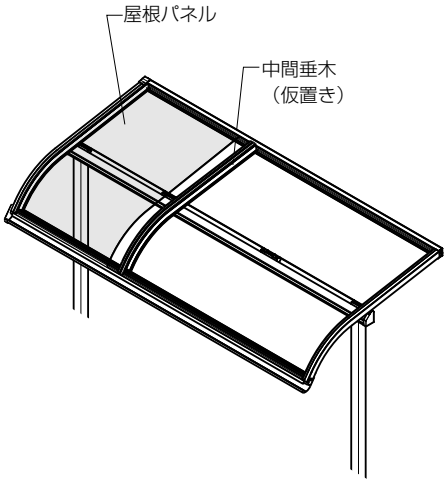
■垂木掛け端部キャップ シーリング個所





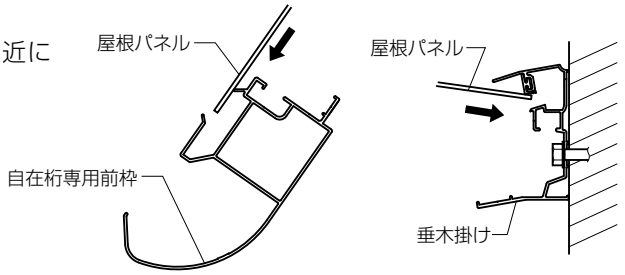


7 屋根パネルの取付け

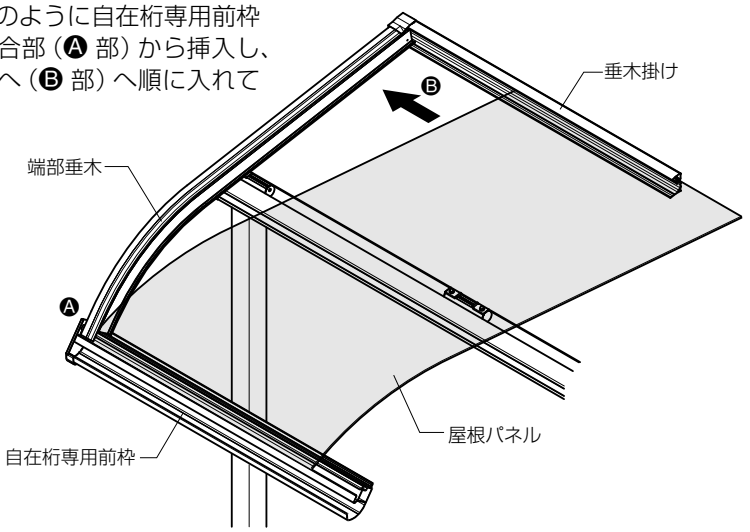


7 屋根パネルの取付け

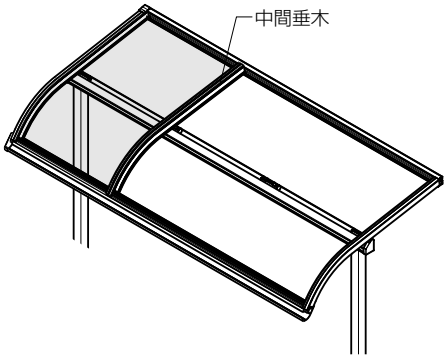
①中間垂木をパネルの側近に仮置きしておきます。



②パネルを図のように自在桁専用前枠と垂木の接合部（Ⓐ部）から挿入し、垂木掛け側へ（Ⓑ部）へ順に入れてください。

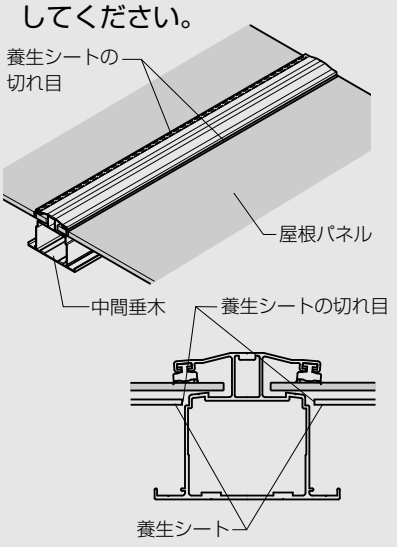


8 中間垂木の取付け



⚠ 注　意

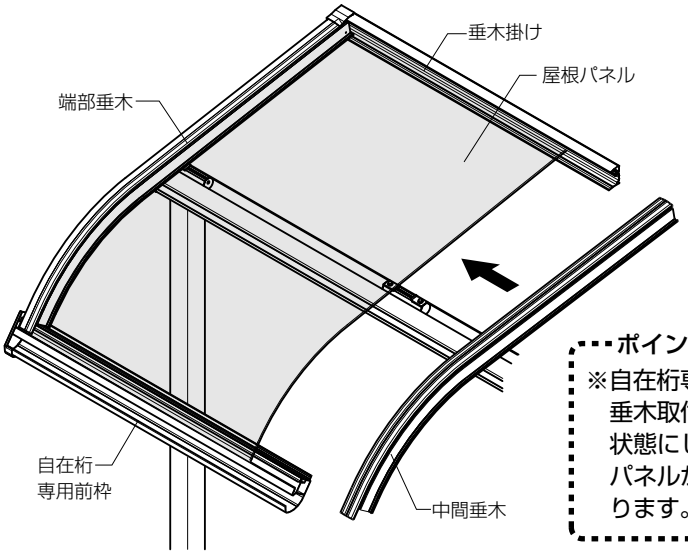
●屋根の取付けはパネルののみ込みが左右均等になるようにしてください。



8 中間垂木の取付け

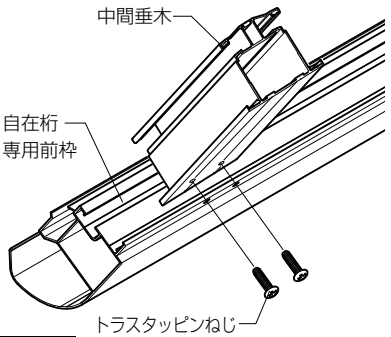
①仮置きしてあった中間垂木を垂木掛け側から自在桁専用前枠に向かってパネルに挿入しながら取付けます。

②中間垂木を図のように、自在桁専用前枠・垂木掛けに取付けてください。

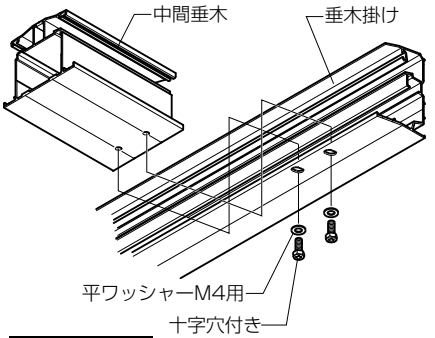


ポイント

※自在桁専用前枠側の中間垂木取付けねじを仮止め状態にしておくと、次のパネルが挿入しやすくなります。

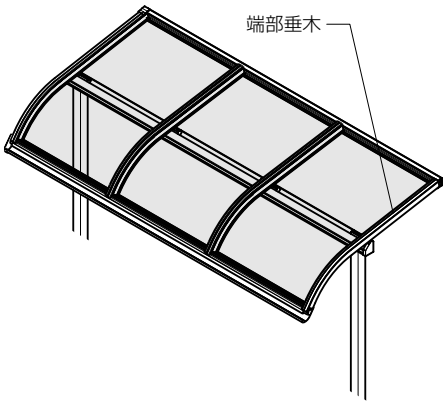


前枠部



垂木掛け部

9 端部屋根パネルおよび端部垂木の取付け

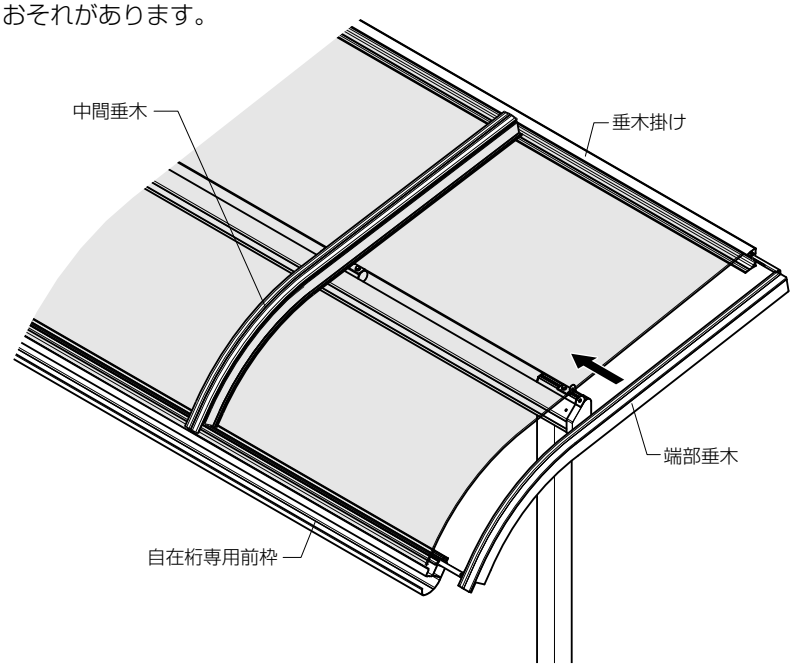


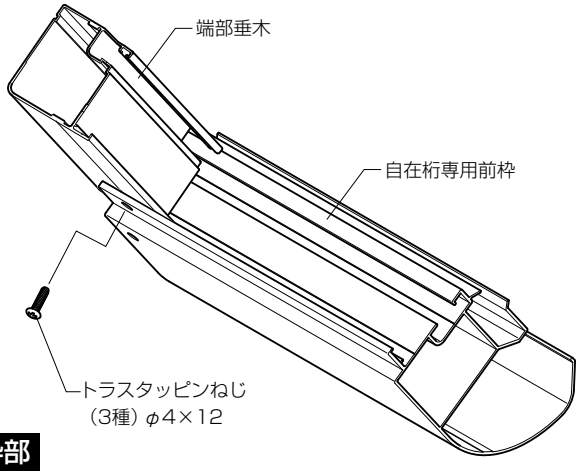
9 端部屋根パネルおよび端部垂木の取付け

①端部垂木をずらし、屋根パネルをスライドし取付けた後、図のように端部垂木を取付けてください。

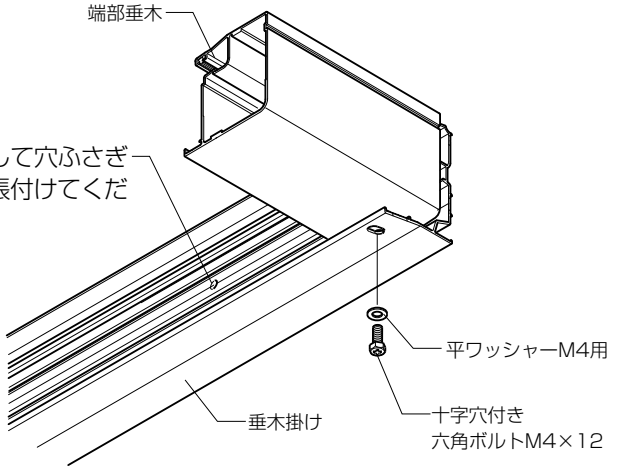
②取付け後、垂木掛けに取付けたスライド部品用のねじを外し、穴ふさぎシールを張ってください。

※端部垂木をスライドする際は、無理な力をかけないでください。部品が破損するおそれがあります。



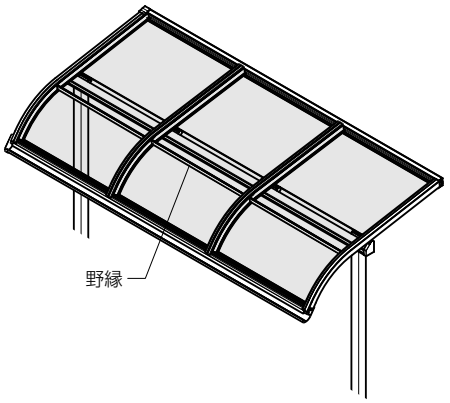


前枠部



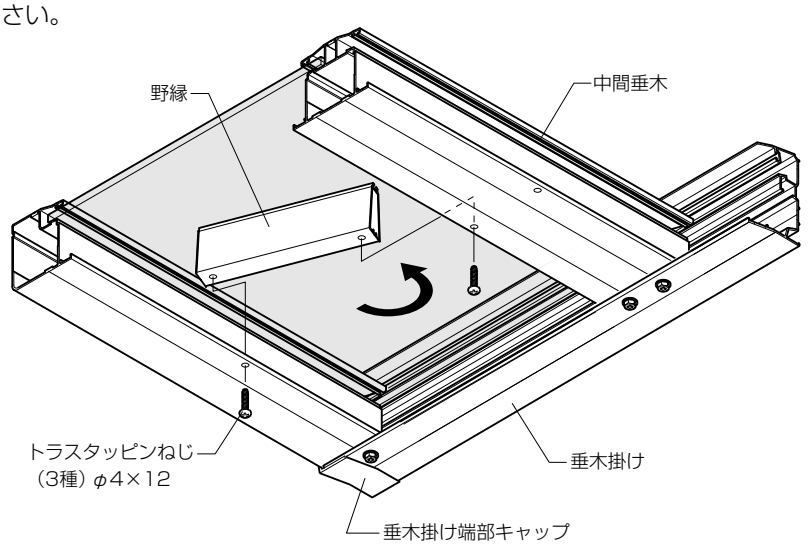
垂木掛け部

⑩ 後付けビード・野縁の取付け



⑩ 後付けビード・野縁の取付け

①垂木掛け、垂木に後付けビードを取付けてください。
②野縁を屋根パネルと垂木のフィンとの間で回転させてセットし、ねじ止めしてください。



■後付けビード使い分け表

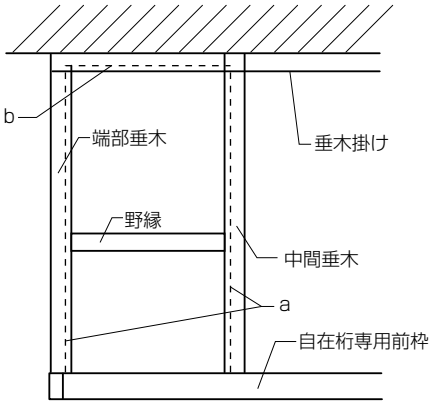
●垂木側

タイプ	記号	3尺	4尺	5尺	6尺
ライザーテラス	a	967	1271	1576	1880
セイバーテラス	a	850	1155	1459	1764

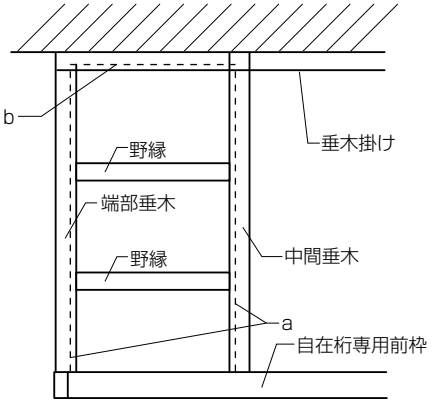
●垂木掛け側

タイプ	記号	関東間	関西間
共通	b	895	995

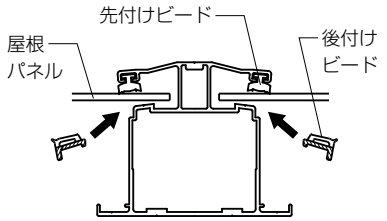
●3尺・4尺タイプ



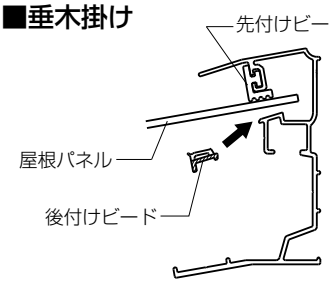
●5尺・6尺タイプ



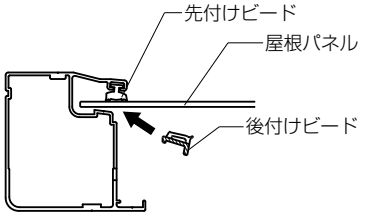
■中間垂木



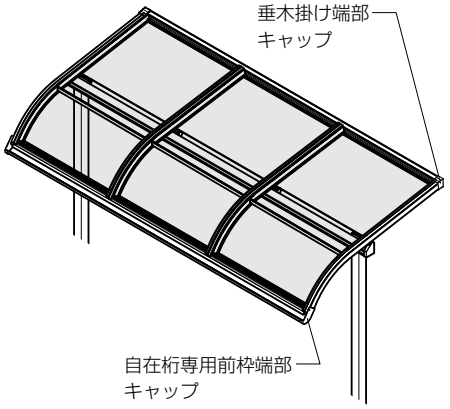
■垂木掛け



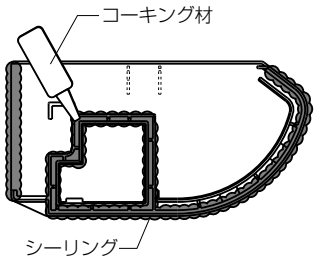
■端部垂木



11 キャップの取付け②



■自在桁専用前枠端部キャップ シーリング個所

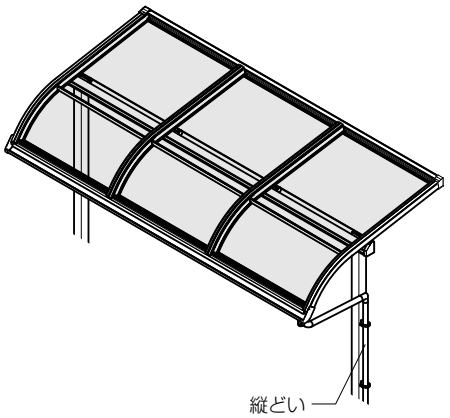


⚠ 注 意

- ●指定の個所に必ずシーリングしてください。
- ●シリコンシーリングを行う場合は指定のアルコール系コーキング材を使用してください。

・信越科学工業 シーラント72
・東芝シリコーン トスシール380
・東レシリコーン SE960

12 雨どいの取付け

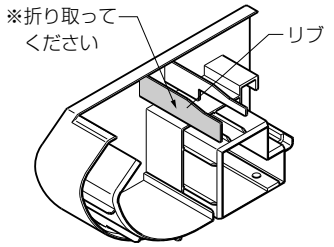


11 キャップの取付け②

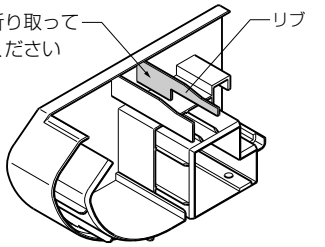
①自在桁専用前枠端部キャップのリブを下図のように折り取ってください。
②自在桁専用前枠端部キャップに図のようにシーリングした後、キャップを取付けてください。
③自在桁専用前枠端部キャップをねじ止めしてください。
④垂木掛け端部キャップ（下止め用）にシーリングした後、キャップを取付けてください。

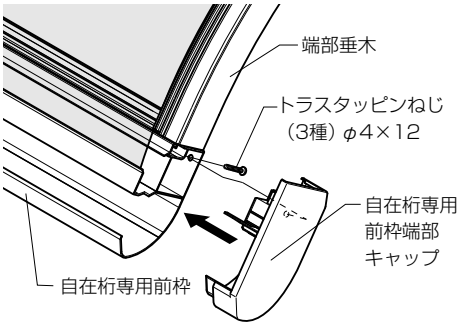
■自在桁専用前枠端部キャップ加工図

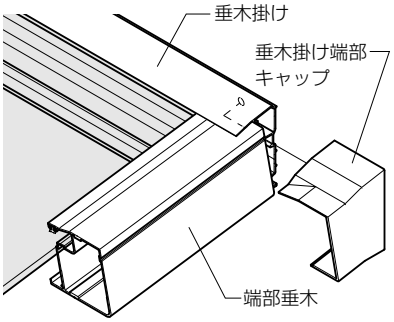
●ライザーテラス



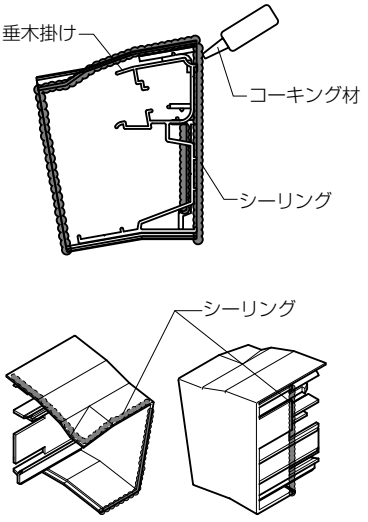
●セイバーテラス





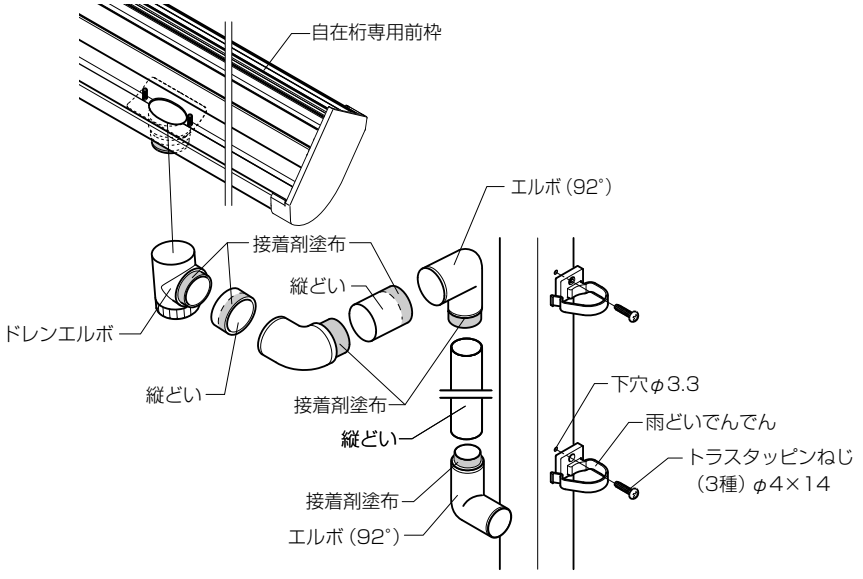


■垂木掛け端部キャップ シーリング個所



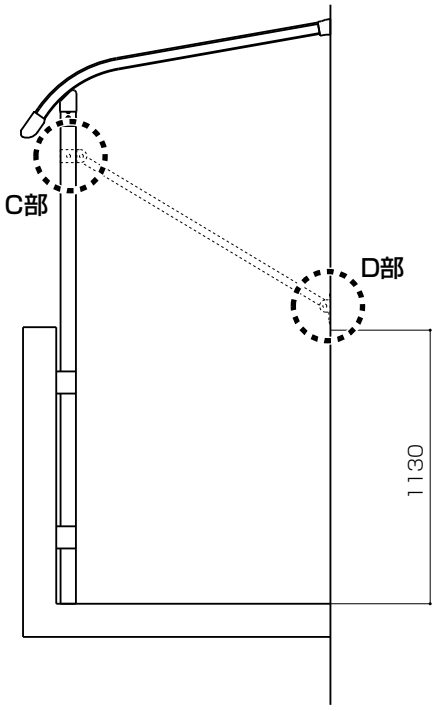
12 雨どいの取付け

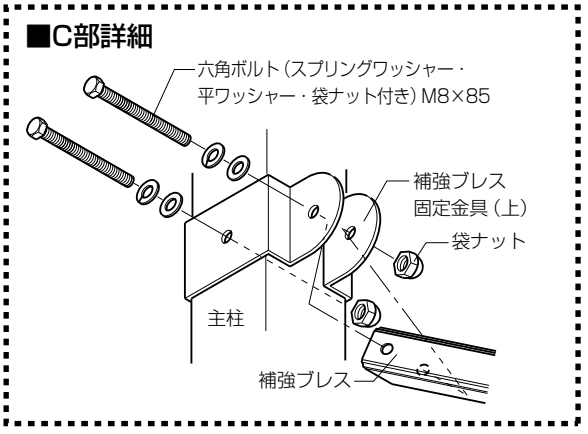
●図のように取付けてください。

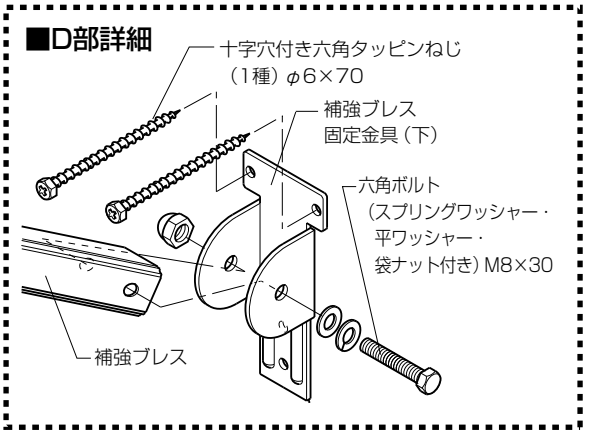


■補強ブレスの取付け

●高い建物のそばや周りに障害物が少ないなどで、直接強い風が吹くような場所では補強ブレスで製品の補強をしてください。





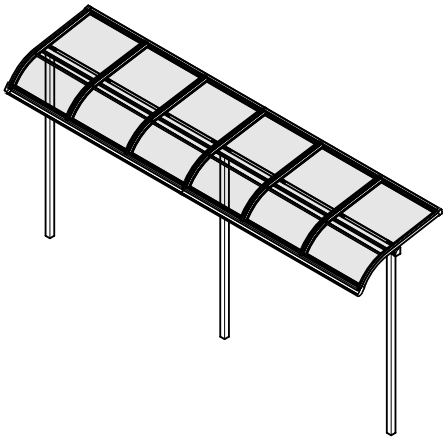


■取付け順序（連棟タイプの場合）

※連棟時の間口部材（前枠・垂木掛け）の切詰めは不要です。

1 自在桁専用前枠の加工

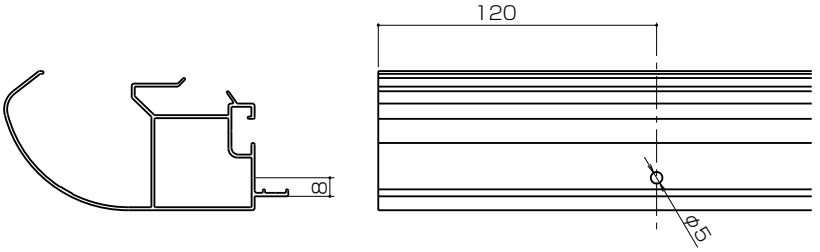
2 垂木掛けの取付け



■取付け詳細（連棟タイプの場合）

1 自在桁専用前枠の加工

●自在桁専用前枠の連結する側の端部に図のようにφ5の穴をあけてください。



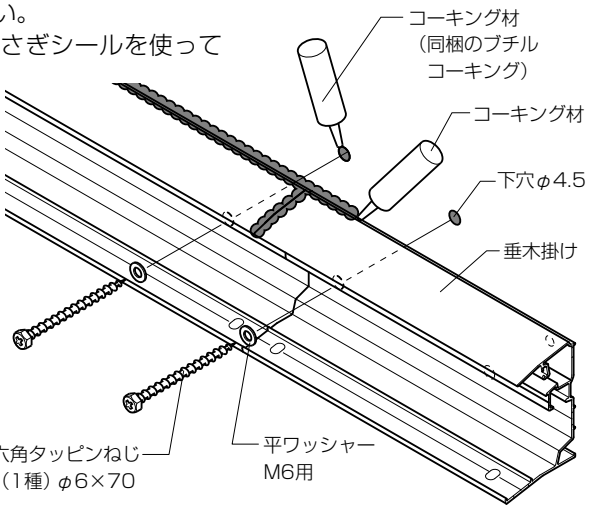
2 垂木掛けの取付け

●垂木掛けの躯体取付け穴（φ6.5）を柱や間柱など躯体構造位置に合わせてあけ直した後取付けてください。

※元のあいていた穴は穴ふさぎシールを使ってふさいでください。

⚠ 注 意

●指定の個所に必ずシーリングしてください。



3 自在桁専用前枠連結部の組立て

①自在桁専用前枠スリーブの取付け
②自在桁専用前枠ジョイントカバーの取付け

⚠ 注 意

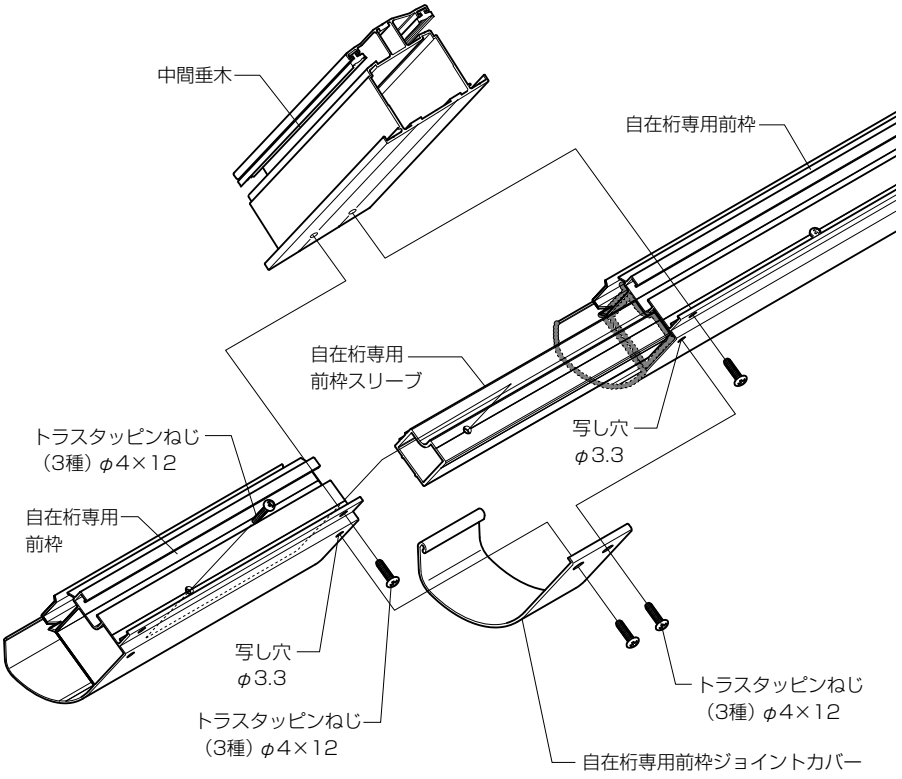
●シリコンシーリングを行う場合は指定のアルコール系コーキング材を使用してください。

・信越科学工業 シーラント72
・東芝シリコーン トスシール380
・東レシリコーン SE960

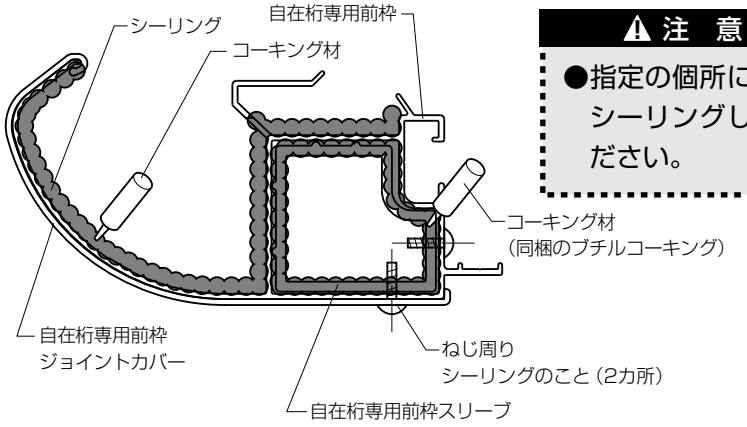
3 自在桁専用前枠連結部の組立て

【造付けバルコニーの場合】

①自在桁専用前枠を自在桁専用前枠スリーブにねじ止めします。
②自在桁専用前枠ジョイントカバーをねじ止めします。
※連結部には垂木が取付きます。

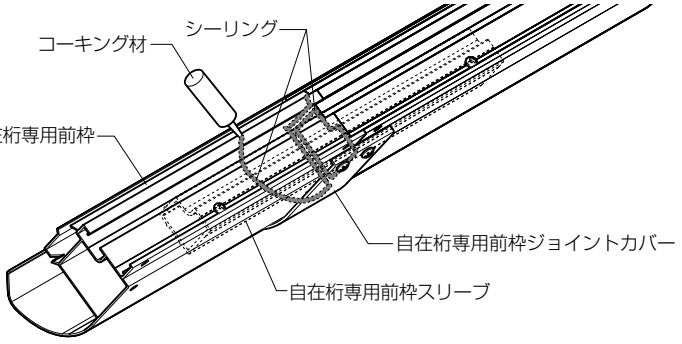


■ジョイント部シーリング個所



⚠ 注 意

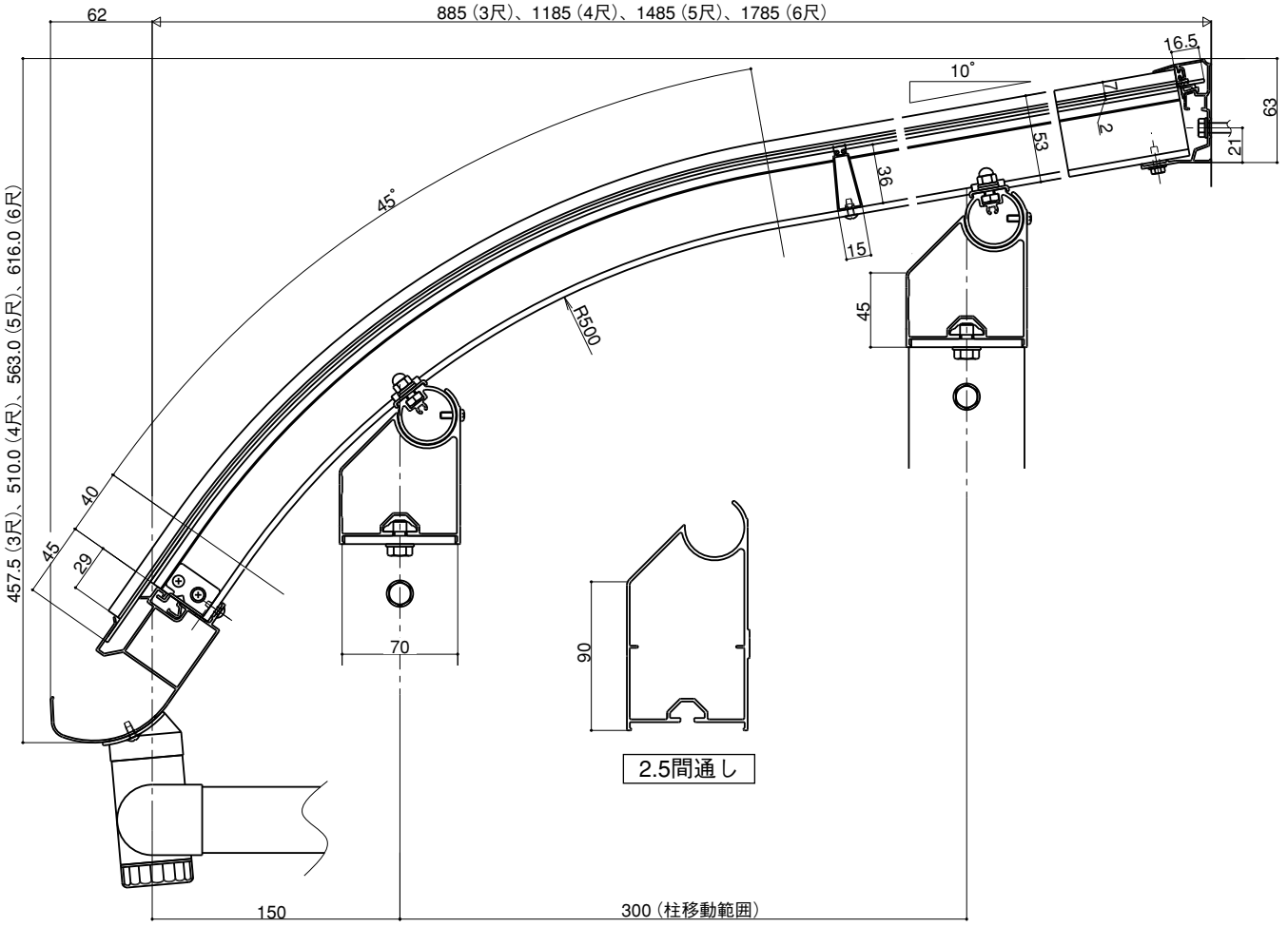
●指定の個所に必ずシーリングしてください。



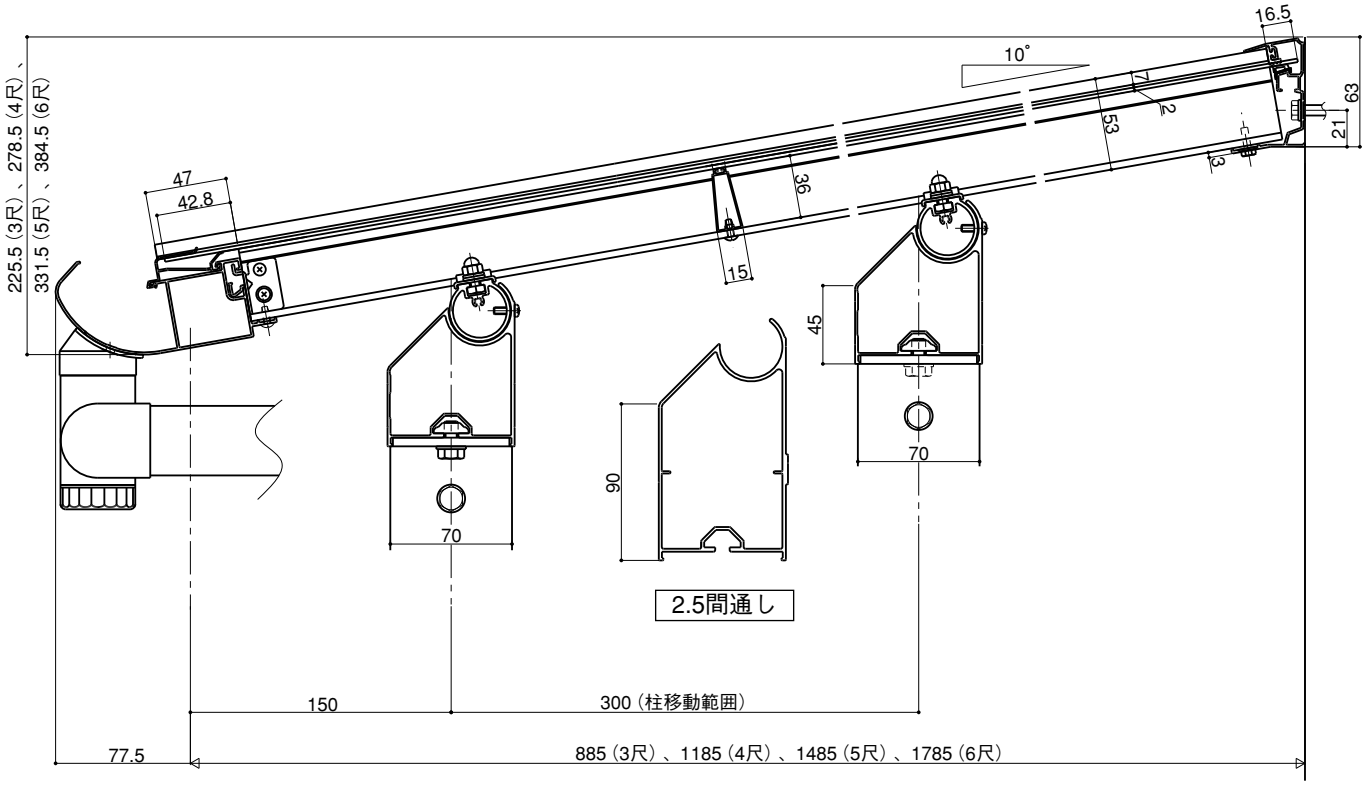
納まり図

■納まり図

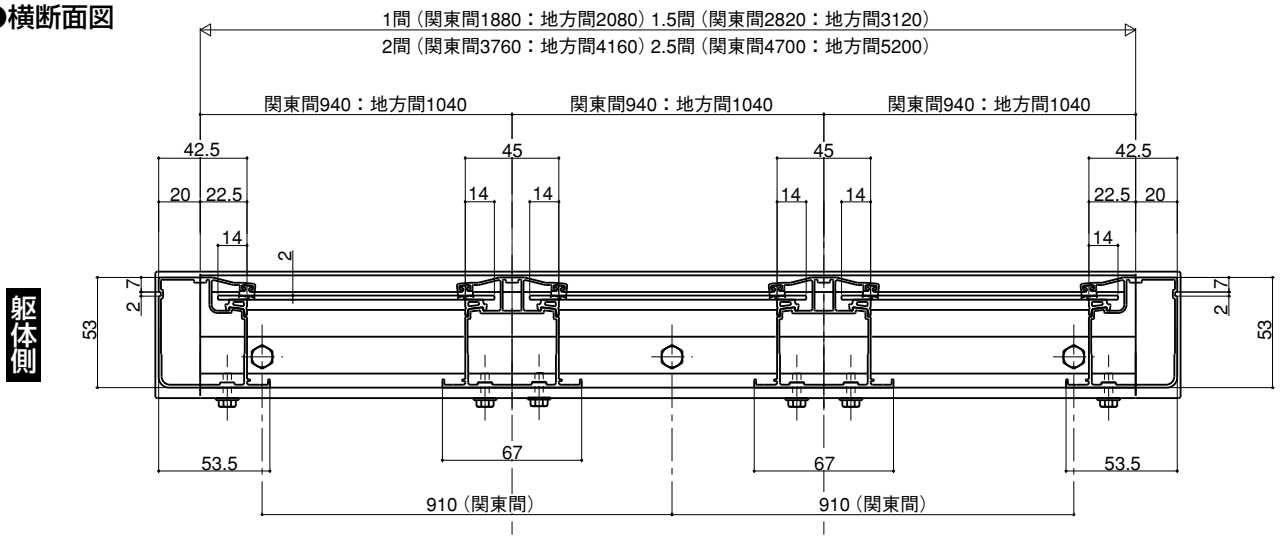
●縦断面図（ライザーテラス）



●縦断面図（セイバーテラス）

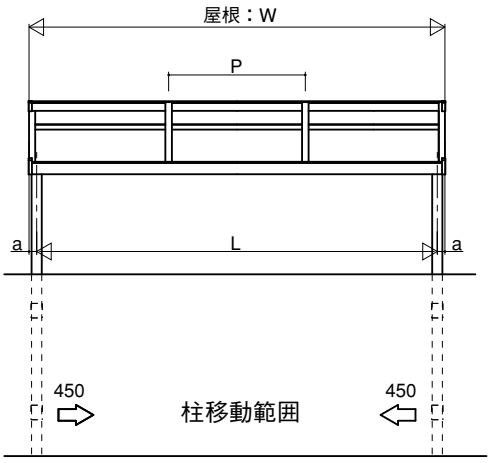


●横断面図



●単体

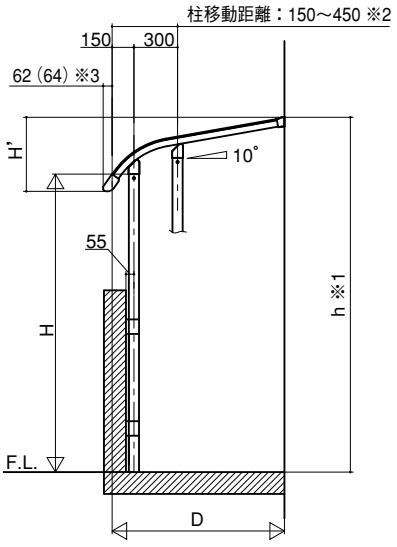
【正面図】



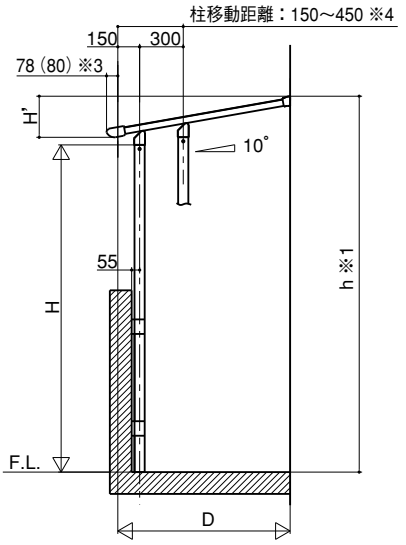
※図はライザーテラスを示します。

【側面図】

・ライザーテラス



・セイバーテラス



出幅 （mm）

呼称	D
3尺	885
4尺	1185
5尺	1485
6尺	1785

高さ （mm）

呼称	ライザーテラス			セイバーテラス		
	H	H'	h	H	H'	h
3尺	2050	457.5	2387.0	2250	225.5	2503.5
4尺		510.0	2440.0		278.5	2556.5
5尺		563.0	2493.0		331.5	2609.0
6尺		616.0	2545.5		384.5	2662.0

※1：柱移動距離150の場合の寸法を示します。
※2：351～449の間は取付けできません。
※3：（ ）はキャップ込みの寸法を示します。
※4：出幅3尺の場合、401以上は取付けできません。

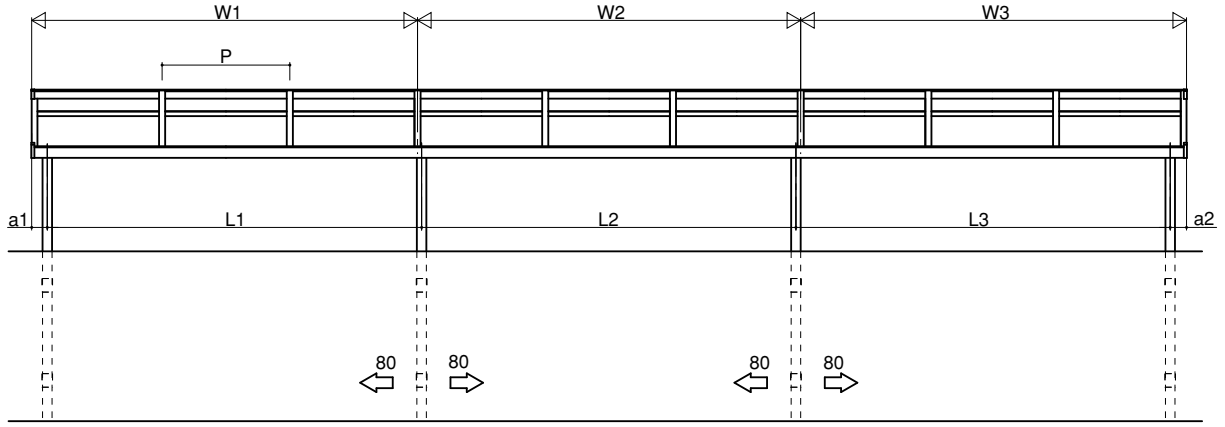
寸法表 （mm）

間 口	関東間				関西間				九州・四国間			
	W	L	a	P	W	L	a	P	W	L	a	P
1.0間	1920	1850	35	940	2120	2050	35	1040	2120	1945	87.5	1040
1.5間	2860	2755	52.5		3160	3005	77.5		3160	2900	130	
2.0間	3800	3650	75		4200	3960	120		4200	3855	172.5	
2.5間通し	4740	4605	67.5		5240	5055	92.5		5240	4845	197.5	
2.5間	4740	4605	50 | 85		5240	5055	50 | 135		5240	4845	155 | 240	
3.0間	5680	5510	85		6280	6010	135		6280	5800	240	
3.5間	6620	6405	85 | 130		7320	6965	135 | 220		7320	6755	240 | 325	
4.0間	7560	7300	130		8360	7920	220		8360	7710	325	
4.5間	8500	8265	117.5		9400	9015	192.5		9400	8700	350	
5.0間	9440	9160	140		10440	9970	235		10440	9655	392.5	

※屋根W寸法は部材の外々寸法です。キャップを含めた外々寸法は十4mmになります。
※本図の柱の長さは標準柱を示します。長尺柱の長さは、標準柱の十450mmです。

●連棟

【正面図】



※図はライザーテラスを示します。

寸法表（関東間）

（mm）

呼称	P	L1	L2	L3	W1	W2	W3	a1	a2
3.0間(1.5+1.5)	940	2755	2755	—	2840	2870	—	85	85
3.5間(1.5+2.0)		2755	3650	—	2840	3780	—	85	130
4.0間(2.0+2.0)		3650	3650	—	3780	3780	—	130	130
4.5間(2.0+2.5)		3650	4605	—	3780	4720	—	130	115
5.0間(2.5+2.5)		4605	4605	—	4720	4720	—	115	115
5.5間(2.0+1.5+2.0)		3650	2755	3650	3780	2820	3780	162.5	162.5
6.0間(2.0+2.0+2.0)		3650	3650	3650	3780	3760	3780	185	185
6.5間(2.0+2.5+2.0)		3650	4605	3650	3780	4700	3780	177.5	177.5
7.0間(2.5+2.0+2.5)		4605	3650	4605	4720	3760	4720	170	170

出幅

（mm）

呼称	D
3尺	885
4尺	1185
5尺	1485
6尺	1785

寸法表（関西間）

（mm）

呼称	P	L1	L2	L3	W1	W2	W3	a1	a2
3.0間(1.5+1.5)	1040	3005	3005	—	3140	3140	—	135	135
3.5間(1.5+2.0)		3005	3960	—	3140	4180	—	135	220
4.0間(2.0+2.0)		3960	3960	—	4180	4180	—	220	220
4.5間(2.0+2.5)		3960	4915	—	4180	5220	—	220	305
5.0間(2.5+2.5)		4915	4915	—	5220	5220	—	305	305
5.5間(2.0+1.5+2.0)		3960	3005	3960	4180	3120	4180	277.5	277.5
6.0間(2.0+2.0+2.0)		3960	3960	3960	4180	4160	4180	320	320
6.5間(2.0+2.5+2.0)		3960	4915	3960	4180	5200	4180	362.5	362.5
7.0間(2.5+2.0+2.5)		4915	3960	4915	5220	4160	5220	405	405

寸法表（九州・四国間）

（mm）

呼称	P	L1	L2	L3	W1	W2	W3	a1	a2
3.0間(1.5+1.5)	1040	2900	2900	—	3140	3140	—	240	240
3.5間(1.5+2.0)		2900	3855	—	3140	4180	—	240	325
4.0間(2.0+2.0)		3855	3855	—	4180	4180	—	325	325
4.5間(2.0+2.5)		3855	4810	—	4180	5220	—	325	410
5.0間(2.5+2.5)		4810	4810	—	5220	5220	—	410	410
5.5間(2.0+1.5+2.0)		3855	2900	3855	4180	3120	4180	435	435
6.0間(2.0+2.0+2.0)		3855	3855	3855	4180	4160	4180	477.5	477.5
6.5間(2.0+2.5+2.0)		3855	4810	3855	4180	5200	4180	520	520
7.0間(2.5+2.0+2.5)		4810	3855	4810	5220	4160	5220	562.5	562.5

※屋根W寸法は部材の外々寸法です。キャップを含めた外々寸法は＋4mmになります。
※本図の柱の長さは標準柱を示します。長尺柱の長さは、標準柱の＋450mmです。

梱包明細書

■梱包明細書

●主柱セット（テラス用）

名　　称	員 数	
	標準	長尺
主柱	2	2
柱固定金具（端部）	2	2
アンカー棒	2	2
六角ボルト（セムス）M8×16	6	6
取付け説明書	1	1

●中間柱セット（テラス用）

名　　称	員 数	
	標準	長尺
中間柱	1	1
柱固定金具（中間）	1	1
柱固定金具裏板（中間）	1	1
アンカー棒	1	1
六角ボルト（セムス）M8×16	4	4

●主柱セット（造付け屋根用）

名　　称	員 数	
	標準	長尺
主柱	2	2
柱固定金具（端部）	2	2
六角ボルト（セムス）M8×16	6	6
取付け説明書	1	1

●中間柱セット（造付け屋根用）

名　　称	員 数	
	標準	長尺
中間柱	1	1
柱固定金具（中間）	1	1
柱固定金具裏板（中間）	1	1
六角ボルト（セムス）M8×16	4	4

●造付け屋根用部品セット

名　　称	員 数	
	1本用	2本用
柱壁付固定金具	2	4
柱キャップ	1	2
六角ボルトM6×85	2	4
平ワッシャーM6用	4	8
スプリングワッシャーM6用	2	4
袋ナットM6用	2	4
ナベタッピンねじ（3種）φ4×14	1	2
六角タッピンねじ（1種）φ6×70	4	8
トラスタッピンねじ（3種）φ5×12	2	4

●柱セット（バルコニー屋根用ブロードステージ）

名　　称	員 数	
	1本入	2本入
屋根柱	1	2
屋根柱上部固定ブロック	1	2
ナベ小ねじM6×10	4	8
六角ボルトM8×25	2	4
スプリングワッシャーM8用	4	8
平ワッシャーM8用	6	12
袋ナットM8用	4	8
屋根柱固定金具（上）	1	2
屋根柱固定金具（下）	1	2
控棒取付け台カバー	1	−
70柱キャップ	1	2
六角ボルトM8×90	2	4
トラスタッピンねじ（3種）φ5×16	8	16
取付け説明書	−	1

●ブロードステージ柱取付け部品セット

名　　称	員 数
柱固定金具裏板（持出し柱用）	1
柱固定金具裏板（BS接続用）	1
柱固定金具スペーサー	1
六角ボルトM8×30	2
六角ボルトM8×90	2

●柱セット（バルコニー屋根用アクトステージA型）

名　　称	員 数			
	主柱	主柱	中間柱	中間柱
	標準	長尺	標準	長尺
主柱	2	2	−	−
柱連結材（コーナー用）（L＝300mm）	2	2	−	−
中間柱	−	−	1	1
柱連結材（中間用）（L＝450mm）	−	−	1	1
屋根柱固定金具（端部）	2	2	−	−
屋根柱固定金具（中間）	−	−	1	1
柱固定金具裏板（中間）	−	−	1	1
屋根柱キャップ	2	2	1	1
柱ジョイントカバー（アクトステージA型用）	2	2	1	1
六角ボルトM8×80	2	2	1	1
六角ボルト（セムス）M8×18	2	2	2	2
平ワッシャーM8用	4	4	2	2
袋ナットM8用	2	2	1	1
トラスタッピンねじ（3種）φ5×12	16	16	8	8
丸皿小ねじφ4×10	4	4	2	2
取扱い説明書（施主様用）	1	1	−	−

●柱セット（バルコニー屋根用アクトステージB型）

名　　称	員 数			
	主柱	主柱	中間柱	中間柱
	標準	長尺	標準	長尺
主柱	2	2	−	−
柱連結材（コーナー用）（L＝300mm）	2	2	−	−
中間柱	−	−	1	1
柱連結材（中間用）（L＝450mm）	−	−	1	1
屋根柱固定金具（端部）	2	2	−	−
屋根柱固定金具（中間）	−	−	1	1
柱固定金具裏板（中間）	−	−	1	1
屋根柱キャップ	2	2	1	1
柱ジョイントカバー（アクトステージB型コーナー用）	2	2	−	−
柱ジョイントカバー（アクトステージB型中間用）	−	−	1	1
六角ボルトM8×80	2	2	1	1
六角ボルト（セムス）M8×18	2	2	2	2
平ワッシャーM8用	4	4	2	2
袋ナットM8用	2	2	1	1
トラスタッピンねじ（3種）φ5×12	16	16	8	8
丸皿小ねじφ4×10	4	4	2	2
取扱い説明書（施主様用）	1	1	−	−

●自在桁専用前枠 長さセット 下止め仕様（関東間、関西間、九州四国間）※600タイプのみ

名称	員数			
	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間通し
自在桁専用前枠	1	1	1	1
下止め用垂木掛け	1	1	1	1
後付けビード	2	3	4	5

●端部垂木セット　下止め仕様

名称	員数			
	3尺	4尺	5尺	6尺
端部垂木（右）	1	1	1	1
端部垂木（左）	1	1	1	1
後付けビード	4	4	6	6

●野縁セット（関東間、関西間、九州四国間）

名称	員数							
	1.0間		1.5間		2.0間		2.5間通し	
	3・4尺	5・6尺	3・4尺	5・6尺	3・4尺	5・6尺	3・4尺	5・6尺
野縁	2	4	3	6	4	8	5	10

●長さ連結材セット

名称	員数
自在桁専用前枠連結スリーブ	1

●中間垂木セット　下止め仕様

名称	員数											
	3尺			4尺			5尺			6尺		
	1本入	2本入	3本入	1本入	2本入	3本入	1本入	2本入	3本入	1本入	2本入	3本入
中間垂木	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
後付けビード	4	8	12	4	8	12	6	12	18	6	12	18

●組立て部品セット　下止め仕様（単体）

名称	員数			
	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間通し
	3~6尺	3~6尺	3~6尺	3~6尺
自在桁専用前枠端部キャップ（左用）	1	1	1	1
自在桁専用前枠端部キャップ（右用）	1	1	1	1
垂木掛け端部キャップ（左用）	1	1	1	1
垂木掛け端部キャップ（右用）	1	1	1	1
前枠スライド部品（下止め）	1	1	1	1
垂木掛けスライド部品（下止め）	1	1	1	1
穴ふさぎシール（φ10）	4	4	4	4
ブチルコーキング（100g）	1	1	1	1
十字穴付き六角ボルトM4×12	4	6	8	10
平ワッシャーM4用	4	6	8	10
六角タッピンねじ（1種）φ6×70	3	4	5	6
平ワッシャーM6用	3	4	5	6
トラスタッピンねじ（3種）φ4×12	15	21	28	35
ナベタッピンねじ（3種）φ4×12	4	4	4	4
92° エルボ	1	1	1	1
取付け説明書	1	1	1	1

●組立て部品セット　下止め仕様（連棟）

名称	員数			
	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間通し
	3~6尺	3~6尺	3~6尺	3~6尺
自在桁専用前枠ジョイントカバー	1	1	1	1
穴ふさぎシール（φ10）	2	2	2	2
ブチルコーキング（100g）	1	1	1	1
十字穴付き六角ボルトM4×12	4	6	8	10
平ワッシャーM4用	4	6	8	10
六角タッピンねじ（1種）φ6×70	3	4	5	6
平ワッシャーM6用	3	4	5	6
トラスタッピンねじ（3種）φ4×12	17	24	30	37
92° エルボ	1	1	1	1

●アクリル・ポリカーボネート・熱線遮断ポリカーボネート・アクアシャインポリカーボネート屋根パネルセット

名　称	員　数											
	3尺			4尺			5尺			6尺		
	2枚入	3枚入	4枚入	2枚入	3枚入	4枚入	2枚入	3枚入	4枚入	2枚入	3枚入	4枚入
パネル3尺（ライザーテラス） （関東間／1029.5×924　t=2.0） （関西 九州・四国間／1029.5×1024　t=2.0）	2	3	4	−	−	−	−	−	−	−	−	−
パネル4尺（ライザーテラス） （関東間／1334×924　t=2.0） （関西 九州・四国間／1334×1024　t=2.0）	−	−	−	2	3	4	−	−	−	−	−	−
パネル5尺（ライザーテラス） （関東間／1638.5×924　t=2.0） （関西 九州・四国間／1638.5×1024　t=2.0）	−	−	−	−	−	−	2	3	4	−	−	−
パネル6尺（ライザーテラス） （関東間／1943.5×924　t=2.0） （関西 九州・四国間／1943.5×1024　t=2.0）	−	−	−	−	−	−	−	−	−	2	3	4
パネル3尺（セイバーテラス） （関東間／909.5×924　t=2.0） （関西 九州・四国間／909.5×1024　t=2.0）	2	3	4	−	−	−	−	−	−	−	−	−
パネル4尺（セイバーテラス） （関東間／1214×924　t=2.0） （関西 九州・四国間／1214×1024　t=2.0）	−	−	−	2	3	4	−	−	−	−	−	−
パネル5尺（セイバーテラス） （関東間／1518.5×924　t=2.0） （関西 九州・四国間／1518.5×1024　t=2.0）	−	−	−	−	−	−	2	3	4	−	−	−
パネル6尺（セイバーテラス） （関東間／1823.5×924　t=2.0） （関西 九州・四国間／1823.5×1024　t=2.0）	−	−	−	−	−	−	−	−	−	2	3	4

●縦どいセット

名　　称	員 数		
	標準	長尺	連結用
縦どい（φ40）	1	1	1
雨どいアタッチメント	1	1	−
雨どい穴ふさぎキャップ	1	1	−
雨どいパッキン	2	2	−
92° エルボ	2	2	−
ドレンエルボ	1	1	−
雨どいでんでん	3	4	4
接着剤	1	1	1
トラスタッピンねじ（3種）φ4×14	7	8	4
雨どいジョイナー	−	−	1

MAK-239
ZJ79
2005年5月1日発行

トステム株式会社
本社　〒136-8535東京都江東区大島2-1-1

商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますので了承ください。